

研究課題名「切除不能膵癌における導入治療と conversion surgery 実施に関する後方視的観察研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年1月から2018年10月までに当院で切除不能膵癌に対する全身化学療法・化学放射線療法を導入治療として受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

初診時に切除不能と診断された膵癌においても全身化学療法や化学放射線療法の導入後に、conversion surgery(CS)を行うことで予後の改善が期待されている。しかし、集学的治療におけるCS実施に関しては未だ不明な点が多い。切除不能膵癌に対する導入治療からCSへ移行可能な臨床的要因を抽出することを目的として本研究を行う。切除不能膵癌は遠隔転移によるものおよび、局所進行のために切除不能とされるものを含み、CS実施や予後との関連が予想される各因子について解析を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、手術日、手術前後の血液検査結果、CT・MRI・超音波内視鏡・PET/CT画像、導入治療（全身化学療法・化学放射線療法）の治療内容・治療期間等

試料：なし

4. お問い合わせ先本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学
TEL: 052-744-2245 FAX: 052-744-2252

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・助教・園原史訓

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・講師・山田 豪

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘